

■「仙台市図書館利用者懇談会」（平成 29 年度）を実施しました。

日頃、図書館を利用いただいている方々から様々な意見を直接伺い、今後の図書館サービスの向上に活かせるよう、5 地区館、2 分館全てで利用者懇談会を実施しました。



（榴岡図書館での様子）

《実施状況》

館名	実施日時、会場 参加者
市民図書館	平成 30 年 2 月 10 日(土)14 時～15 時 30 分 せんだいメディアテーク 7 階会議室 個人利用者 2 名、小学校 1 名、おはなし会ボランティア 1 名、 図書館ボランティア 2 名、市民図書館職員 5 名 (合計 11 名) * 予定していた個人利用者 2 名は欠席
泉図書館	平成 30 年 2 月 15 日(木)13 時 30 分～15 時 15 分 3 階読書推進活動室 利用者 1 名、返架ボランティア 1 名、文庫 1 名、市民センター1 名、子育て支援施設 1 名、泉図書館職員 4 名 (合計 9 名) * 予定していた小学校教諭、読み聞かせボランティアからの参加者は欠席
太白図書館	平成 30 年 2 月 16 日(金)13 時 30 分～14 時 50 分 地下 1 階 視聴覚室 個人利用者 1 名、個人利用者 (配架ボランティア) 1 名、個人利用者 (修理ボランティア) 1 名、読み聞かせボランティア 1 名、対面朗読サービスボランティア 1 名、地域文庫 3 名、太白図書館職員 5 名 (合計 13 名)

館名	実施日時、会場 参加者
宮城野図書館	平成 30 年 2 月 2 日(金)13 時 30 分～15 時 視聴覚室 個人利用者 1 名、児童館 1 名、区中央市民センター2 名、区文化センター1 名、宮城野図書館職員 4 名 (合計 9 名)
若林図書館	平成 30 年 2 月 16 日(金)13 時 30 分～15 時 2 階視聴覚室 個人利用者 2 名、ボランティア団体 4 名、図書館応援団 3 名、区文化センター1 名、区中央市民センター1 名、区中央児童館 1 名、若林図書館職員 3 名、指定管理者 2 名 (合計 17 名) * 予定していた個人利用者、ボランティア団体、図書館応援団、児童館からの参加者は欠席
広瀬図書館	平成 30 年 2 月 15 日(木)13 時 30 分～15 時 広瀬市民センター 2 階会議室 個人利用者 4 名、ボランティア団体 2 名、広瀬図書館職員 4 名 (合計 10 名)
榴岡図書館	平成 30 年 2 月 6 日(火)13 時 30 分～15 時 5 階会議室 個人利用者 3 名、学校関係者 2 名、榴岡児童館 1 名、東口エリアマネジメント協議会 1 名、東口ガイドボランティア 1 名、榴ヶ岡市民センター1 名、榴岡図書館職員 4 名 (合計 13 名) * 予定していた仙台市生涯学習支援センターからの参加者は欠席

《懇談会の内容》

図書館から平成 29 年度の図書館事業の概要と取り組み状況を説明、出席者全員から意見や要望をもらい、説明や回答を行いました。

《出席者からの主な意見》

【市民図書館】

- ・グループ閲覧室の利用が 2 時間では足りない。3 時間まで延長できるといい。
- ・ボランティア対象の選書に関する勉強会があるといい。
- ・子ども読書支援パックの手袋やパネルシアターの使い方についての実演の講習会があると利用促進に繋がると思う。
- ・貸出冊数を増やしてほしい。
- ・読書好きの人が集まる場所として利用者同士が本について自由に話が出来る仕組みがあると図書館の発展につながるのでは。
- ・2 階の中学生がお奨めする YA 本の紹介コーナーの大人版として、一般書の紹介コーナーを導入して職員や利用者からお奨めするのはどうか。

【泉図書館】

- ・大型で薄い本（料理本等）は、書架内の冊数が少なくなると倒れてしまい、見た目が悪いだけでなく取り出したり戻したりしにくい。倒れないようにする置き方の工夫はないか。
- ・読み聞かせボランティアの養成講座・ステップアップ講座の受講修了者が実践的な力を身に付けられるように、サークルを結成して活動の場を提供するなどのフォローも必要なのではないか。
- ・リーフレット類が、字数が多すぎるのか見づらく、デザインもバラバラな感じがする。もっと工夫を。
- ・パスファインダーの活用も進めてほしい。現行のものはサイズが大きく大仰な感じもするので、情報を絞り込んでもっとコンパクトで手に取りやすいものになればよい。
- ・エプロンを揃いにする等、統一感を出した方がいい。

【宮城野図書館】

- ・『本の福袋』を借りてきた児童館の子ども達が、袋の中が見えないのにとっても嬉しそうに楽しそうにしていた。興味を持つきっかけという観点からも良いイベントだ。
- ・昨年秋の「夜のコンサート」は斬新で素晴らしかった。普段、「静かに過ごす所」という印象のある図書館において、目新しく興味を引くイベントだった。
- ・児童館や市民センター、文化センターと同じ建物内にあって、子ども達が集まってくる複合施設。子どもの居場所づくり、という面でもっとアピールできると良い。
- ・耳の不自由なお母さんが児童館を利用した際、「音の出る本」を要望され、急ぎ購入した。健常な子どもに聞かせてあげたい、ということだった。値段は高いが、置いてもらえれば図書館を案内できる。また、視聴覚に障害のある子ども向けのリストがほしい。
- ・市民センターの読み聞かせ講座を修了したグループがあり、宮城野図書館でも活動の機会を作ってほしい。
- ・建物に看板が全く無いため何の建物だかわからない。壁面等への看板等の表示については、文化センター内の施設にとって今後も継続しての課題である。

【太白図書館】

- ・地域文庫の活動のため、図書館から本を借りているが、太白図書館の文庫の本棚は冊数が多くてどの本を借りてよいのか分からなくなる。
- ・対面朗読サービスの本について、雑誌や自分の本を読む場合は問題ないが、雑誌以外の図書館の本を読む場合、2週間ではちょっと短い。もう少しゆっくり借りられたら良いと思う。
- ・読み聞かせのボランティアを行っている。最近では、0歳児の親子も多くなるなど、参加する子どもの年齢が低くなっているように感じる。図書館の「0歳から読書に

親しめる読書文化を育む図書館」の効果が表れているのかもしれない。

- ・太白図書館は比較的高齢の方の利用が多いと思う。新刊本も良いが、一時期流行したが今は見向きもされない本、昔の芥川賞・直木賞などの受賞本などを集めてコーナーを作ってはどうか。あちこち探さなくても直ぐに見つかり便利だと思う。
- ・配架ボランティアをしていると、普段自分では行かないような書架で新たな発見があるのも楽しい。

【若林図書館】

- ・「世界の絵本展」は指定管理者らしい事業だといえるし、図書館だより「本びより」の「せんだい歳時記」やリレーエッセイは非常に質が高く、冊子化を希望する。
- ・若林図書館に所蔵のない児童書が多いことが気になっている。また基本的な児童書は、子どもたちが手にとれる状態しておくべきだ。書庫にあったとしても、子どもは依頼しない。
- ・事典類のアップデートをお願いしたい。発行後20年以上を経過した資料では価値がない。
- ・「絵本作家講演会」では、お父さん・お母さん方のファンが多かったようだが、時間帯を再考してみてもどうか。
- ・「YA 図書」「AV 資料」などはアルファベット表記にする必要があるのか。
- ・子ども用トイレは近くて便利なのだが、和式なので残念だ。
- ・児童館利用者から、子どもが騒いでしまうから図書館を利用しづらいという声がある。

【広瀬図書館】

- ・図書館職員が忙しいために、利用者が聞きたいことがあっても聞けないということもあるので、今回のような場を年に何度か作って、図書館について質問したり、交流したりできると良いのではないか。
- ・小学校では、ブックトークを聞いた後、子ども達が同じように本を紹介し合うということに取り組んだ。子ども達は、図書館職員の話方を一生懸命真似しながら紹介の仕方を工夫していた。自分の好きな本を紹介することで、嬉しいような誇らしいような子ども達の様子が垣間見え、これもブックトークの効果だと感じた。今後も是非続けてほしい。
- ・広瀬図書館は男性職員が多いことが特徴のひとつだと思う。ぜひ男性職員による「男のおはなし会」を実施してほしい。
- ・図書館はバックナンバーが揃っているところに魅力を感じる。趣味が変わっても、バックナンバーを借りることができるのはとても良いと思う。
- ・60歳になって初めて、童話やヤングアダルト向けの図書に対して子どもの頃とは違う感じ方ができて借りたいと思うことがある。

【榴岡図書館】

- ・土日は、児童館にお父さんが子どもを連れてくる。お父さんと一緒に来れるおはなし会など、意識づけることも含めて実施してはどうか。
- ・各作家のシリーズ本が、一か所に置かれ、見やすくなった。また、スタッフおすすめ

の本や利用者のおすすめの本（「あなたのおすすめ本を教えてください」）を展示や冊子で見て、普段と違う本にも手を出せるようになった。

- ・毎月魅力的な展示が多い。知らない分野の本を知れるので、参考にしている。
- ・榴岡図書館で昨年配布したYAのブックリストについて配布先での使われ方をリサーチしてはどうか。中学生が選んだベストテンも掲示している中学校もある。
- ・小学校のブックトークについて、学校の図書室スタッフは来ていることを知らなかったの、できればブックトークが終わった後にでも立ち寄ってもらいたい。どうすれば子どもたちが本を手にとってくれるかなど、知恵を出し合えればと思う。また、紹介する本を事前に教えてほしい。ブックトークのあった日に、複数の子どもたちから同じタイトルを聞かれた。

【図書館システム更新について】

平成30年1月の図書館システムの更新で使い勝手が変わったこともあり、各館で関連の意見がだされました。以下に一部を紹介します。

- ・慣れないためか検索等が使いづらく感じられる反面、新システムならではの機能もあると思うので、もっとアピールしてほしい。
- ・予約の多い本や貸出の多い本のランキングも見れるようになったが、プリントアウトして掲示する等ネットを見られない人にも情報提供した方がよい。
- ・タッチパネル式 OPAC の画面と接続されたキーボードの位置が離れていて使いにくい。子どもの利用を想定したものなのかもしれないが、もう少しキーボードの位置が高いと良い。
- ・予約待ちの人数がわかるようにしてほしい。